

LS1

知って欲しい蛍光観察の世界 —とくに ORALOOK の活用法—

提供企業 (株) HITSPLAN



東京歯科大学名誉教授・客員教授
同大学千葉市歯科医療センター長補佐
柴原 孝彦

口腔粘膜には、白板症や扁平苔癬などの前がん病変・前がん状態（2017年から口腔潜在的悪性疾患）、そして扁平上皮癌など様々な粘膜疾患が発生します。その肉眼的な所見は、時に類似し、鑑別に苦慮する場合も多く、臨床では癌を見逃し進行癌に至った報告も少なくありません。昨年元アイドル舌がんのカミングアウトもまさにそのような事態が起こり、歯科界に激震を与えたのは記憶に新しいことと思います。

では我々は日常診療でどのように良性の口腔粘膜疾患と悪性を鑑別すれば良いのでしょうか？現状では確定診断は生検が最も有効な検査法ですが、術者にある程度の技術、そして患者へは外科的な侵襲が伴い、決して容易ではありません。特にすでに癌だった場合には、生検による刺激で腫瘍の増大を来す可能性もあり、生検の選択は慎重に考えなければなりません。これを補うために手技が容易で簡便な細胞診がありますが、軽度の侵襲を伴うこと、強い炎症や角化亢進の病変では偽陽性または偽陰性の可能性があることを認識する必要があります。もう一つの検査として生体に各種の色素剤を塗布することで色調の変化を観察する生体染色法がありますが、咀嚼粘膜に発症した病変や内向性発育の病変では色調の変化を観察できない、意識下の患者には不快感がある、さらにこの色素剤にアレルギーがある場合には使用できないなどの欠点もあります。そんな中、口腔粘膜疾患の新たな診断法として蛍光観察の概念が注目されています。本セミナーではこの蛍光観察にフォーカスを当て、とくに ORALOOK 臨床応用と評価を科学的根拠に基づいて解説を試みます。

略歴

- 昭和 54 年 3 月 東京歯科大学卒業
- 昭和 59 年 6 月 東京歯科大学大学院歯学研究科（口腔外科学専攻）修了
- 昭和 59 年 12 月 東京歯科大学口腔外科学第一講座 助手
- 昭和 61 年 7 月 国立東京第二病院歯科口腔外科に出向
- 平成 元年 8 月 東京歯科大学口腔外科学第一講座 講師
- 平成 5 年 6 月 学命によりドイツハノーバー医科大学に留学
- 平成 12 年 6 月 東京歯科大学口腔外科学第一講座 助教授
- 平成 16 年 8 月 東京歯科大学口腔外科学第一講座 主任教授
（現、口腔顎顔面外科学）
- 平成 22 年 6 月 東京歯科大学千葉病院副院長（現、千葉歯科医療センター）
- 令和 元年 6 月 東京歯科大学口腔がんセンター長（平成 24-25 年、令和 2 年）
- 令和 2 年 4 月 東京歯科大学名誉教授、口腔顎顔面外科学講座客員教授
- 令和 4 年 5 月 同学千葉歯科医療センター長補佐

所属学会

日本口腔外科学会、日本頭頸部癌学会、日本口腔腫瘍学会、日本有病者歯科医療学会、日本口腔科学会、日本老年歯科医学会、日本小児口腔外科学会、日本顎顔面外科学会、日本癌学会、日本癌治療学会など。

著書

口腔顎顔面外科学，医歯薬出版，東京，2000．標準口腔外科学，医学書院，東京，2004．
カラーアトラス コンサイス口腔外科学，学建書院、東京、2007．口腔がん検診 どうするの、ど
う診るの、クインテッセンス出版、東京、2007．衛生士のための看護学大意 医歯薬出版、
東京、2012．かかりつけ歯科医からはじめる口腔がん検診 step1/2/3，医歯薬出版、2013．
エナメル上皮腫の診療ガイドライン、学術社、東京、2015．薬剤・ビスフォスフォネート関連顎骨壊
死 MRONJ・BRONJ、クインテッセンス出版、東京、2016．知っておきたい舌がん、扶桑社、
東京、2019．口腔がんについて患者さんに説明するときに見える本、医歯薬出版、東京、2020．
蛍光観察と口腔粘膜疾患、メディア社、東京、2021． など